

2026年6月15日

各位

会社名 t a n e C R E A T I V E株式会社
(コード番号 422A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 榎 崇斗
問合せ先 取締役管理部長 川名 洋平
T E L 0259-67-7572
U R L <https://tane-creative.co.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Marketへの上場目的の開示

当社は、東京証券取引所 TOKYO PRO Marketへの上場にあたり、以下のとおり、TOKYO PRO Market上場の目的並びに上場目的の実現に向けた追加情報をお知らせいたします。

1. 上場の目的

当社は、佐渡島を中心とした地域のIT人材を雇用し、独自のプログラミング・サイバーセキュリティ教育を施した上で、首都圏を中心とする大手企業に対して、セキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業を展開している企業です。

また、当社では、ステークホルダーに地域社会も含まれることを明言しており、新潟県佐渡市の企業として、佐渡市だけでなく新潟県全体を地域社会と捉えた貢献活動（CSR活動）への取組みを積極的に実施しております。

当社は、知名度及び信用力の向上によるセキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業の拡大と、新潟県佐渡市の企業として、地域社会への貢献を実現していく企業へと成長することを目的として、2025年10月には、東京証券取引所TOKYO PRO Marketへの新規上場（証券コード：422A）をいたしました。

今後は、新規上場によって得られた知名度及び信用力の向上効果を活かして業績を拡大させ、一般市場への上場とその後の更なる成長を目指すとともに、地域社会への貢献を実現してまいります。

2. 上場（2025年10月）以降の主な取組み・達成状況

当社の東京証券取引所TOKYO PRO Marketへの上場（2025年10月）以降の上場目的の実現に向けた主な取組みと達成状況は、以下のとおりです。

(1) 新規上場によって得られた知名度及び信用力の向上効果を活かした業績の拡大

- ・上場会社としての知名度及び信用力並びに新規上場後の第三者割当による自己株式処分により調達した資金を原資として、2026年1月には、大都市圏の大手食品・飲料メーカー、マスメディアと直接取引の実績があり、経験豊富なデザイナー及びコピーライターが少数精鋭で質の高いサービスを提供している株式会社モスデザイン研究所のM&Aを実施しました。
- ・2026年3月には、事業年度を毎年6月1日から翌年5月31日までとする変更を実施し、予実管理の正確性を担保できる体制の構築に着手しております。
- ・上場会社としての知名度及び信用力を活用したブランディング、プロモーションを展開したことで、新規上場後（2025年10月10日～2026年6月9日）のセキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業に関する引き合いが、前年同期間（2024年10月10日～2025年6月9日）比で約150%となりました。
- ・新潟県佐渡市に、堅牢な旧銀行建物を改修したサイバーセキュリティセンター（セキュリティベース河原田本町、2026年7月17日開業予定）を開設する予定であり、より高度かつ総合的なサイバーセキュリティサービスを提供する準備を進めております。

(2) 地域社会への貢献

- ・新潟県佐渡市において、唯一の上場企業となったことで、地域社会の皆様より大きな応援をいただくこととなり、特に地域企業のDX化、地域におけるIT教育などに関するご期待、ご相談をいただくようになりました。
- ・上記サイバーセキュリティセンターを新潟県佐渡市に開設することで、新しい産業を育成しつつ、若者世

代の移住者数・雇用数を増やしてまいります。また、同建物を学生向けにサイバーセキュリティ教育を提供する拠点として利用することで、新潟市へ通うことが困難な離島内に高度IT教育の場を創出してまいります。

3. 追加的な情報開示

(1) 中長期的な成長目標・成長戦略

AIの進化に伴い、脆弱性の発見能力が高度化する中で、当社が提供するセキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業への需要は、今後さらに高まるものと分析しております。AI時代のWeb制作・保守会社として、下記の具体的な施策により、需要の増加を確実に捉え、事業拡大を着実に進めてまいります。

- ・AIによる脆弱性の発見件数の増加に対応すべく、脆弱性修正業務においてもAIを活用した効率化・高度化を進めるとともに、エンジニアによる検証体制を強化してまいります。
- ・上記セキュリティベース河原田本町を中核拠点として、Web業界に特化した高度セキュリティ人材を育成し、エンジニアによる対応体制を拡充するとともに、ネットワーク経由の攻撃に対する脆弱性対策を強化することで、セキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業に関する新規受託の増加を図ってまいります。
- ・M&Aを活用し、組織基盤及び事業領域の拡大を図ってまいります。

(2) 一般市場への上場目標時期及び上場予定市場

当社グループは、2036年前後に売上高30億円を達成することを目指しており、一般市場への上場についても同時期を目標としております。なお、上場予定市場は現時点では決まっておりません。

(3) 上場準備スケジュール

東京証券取引所 TOKYO PRO Marketへの上場後は、セキュアなWebサイト制作並びにセキュリティ保守管理事業の拡大を図りつつ、内部管理体制の強化も進め、2033年前後からステップアップ上場に向けた準備に着手する予定です。

以上